

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和 4年 5月20日

東員町議会

議長 三宅耕三様

東員町議会 議員 中村 等 ㊟

研修期間	<u>令和 4年 5月 10日 (火)</u> ～ <u>5月 11日 (水)</u> 【2日間】
研修(視察)先	茨城県日立市
目的(テーマ等)	鉄道に代わる公共交通システムについて ひたちBRTの実証(ひたちBRT乗車)
資料添付の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

## 様式1【申し合わせ事項】：【委員会、全協：共通様式】

〔議員氏名： 中村 等 〕

### 研修概要、内容、所感

研修初日の令和4年 5月10日北勢線の東員駅に7:30分に集合し、茨城県日立市で日立市議会事務局（各課有）から・鉄道に代わる公共交通システムについて研修しました。

11日（水）は、午前9:00から常陸多賀駅へ向かい、ひたちBRTに乗車し同市おさかなセンターまで乗車し質疑・応答を行ないました。

日立市における公共交通をとりまく主な特性は、南北に細長い平野部に人口が集中・企業城下町として発展し、JRの各駅と工場を中心に5つの市街地を形成・山地部に低密度で高齢化の高い集落が分布・郊外団地が山地部に進出・山側団地の今後の急速な高齢化と人口減少、高齢化の進展 特性 問題・南北方向において充実した鉄道網、路線バス 網・日立電鉄線の廃止・パートナーシップ協定などの取り組みバス利用者の減少・道路混雑によるバス運行の遅れ発生・利用者の減少に伴う系統の廃止・系統廃止等に基づく経年的な路線変化と 市民ニーズとの乖離（ミスマッチ）などがあげられます。

ひたちBRTに乗車しました感想は、やはり電車の上物（乗車場所）を取り換えただけのような気がしました。

ひたちBRTは、それまでの線路道床厚をすべて取り除いて整備されたそうです。北勢線の新規整備区間においては、道床厚を200mmになるよう整備を進めました。

軌道には、列車荷重を支え、合理的な保守量で良好な状態を維持できるための強度を持つことが要求され、この軌道強度を決定し、列車速度を上げた実績があります。

これをすべて取り除き整備するには車両導入費用とは別に莫大な費用が必要となります。

日立市は、原子力立地地域特措法（原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法）の原発の周辺地域について、地域の防災に配慮しながら、地域の振興を図るとして、指定の立地地域（14道府県、76市町村）に対しての支援を受けており、防災インフラ整備への支援の対象として住民生活の安全の確保に資する道路、港湾、漁港、消防施設、義務教育施設の支援を国土交通省の補助金とは別に受け、市としてはほとんど負担が無い為におこなわれているが、高齢化・人口減少など今後の存続の面に不安を抱えているケースも少なくなく、日立市が今後はどう考え対応していくのか注視していきたい。